



びっしょりで

おさかじょうのまき

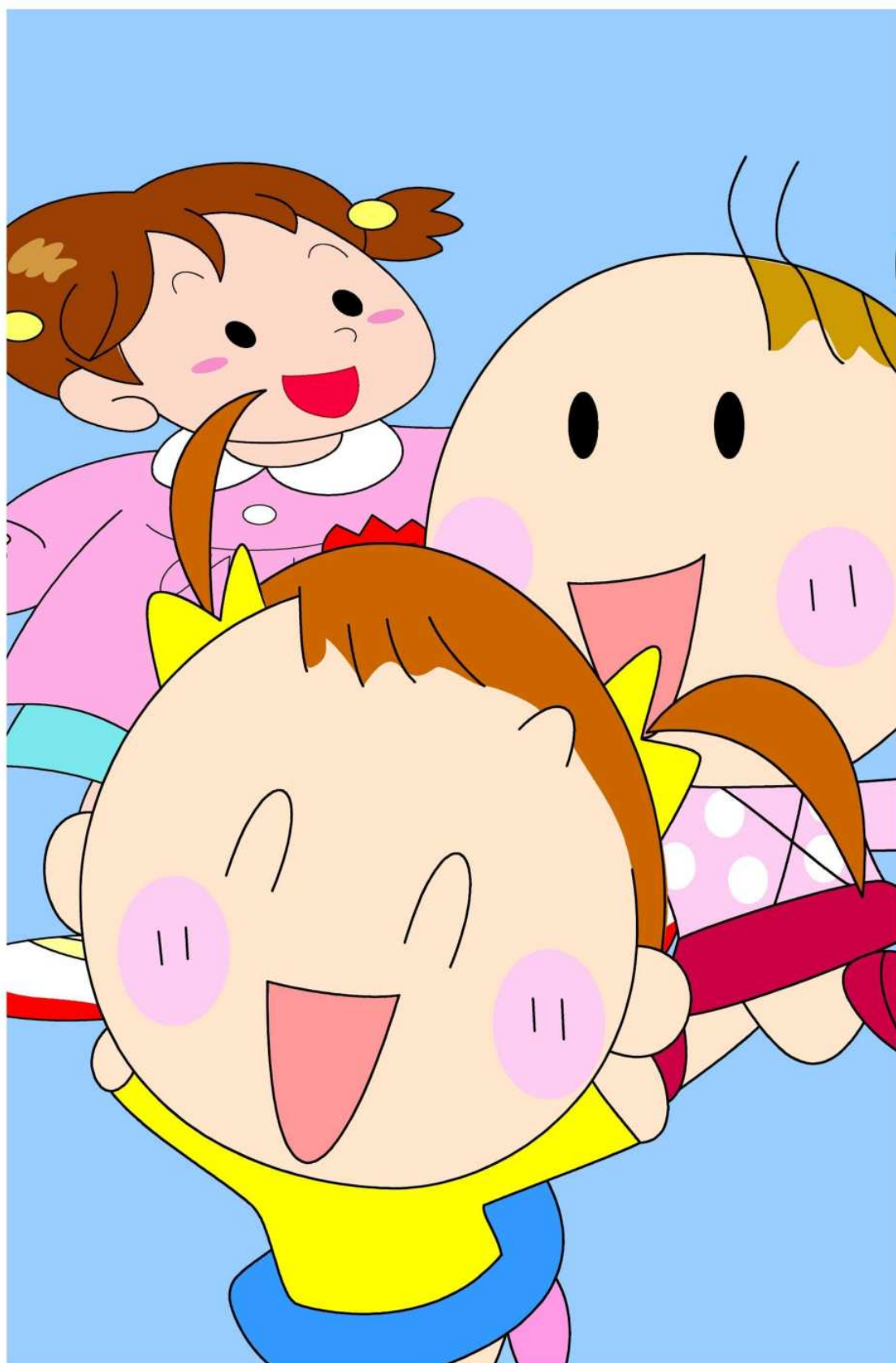
おくの地区社協
さく いいだ あきお

「うしくのたからものつて、なーに？」

「もちろん、うしくしゃとーじゃないかな？」

「ちがうよ　ちがうよ。
うしくだいぶつだよ」

と　いつもの3にん。

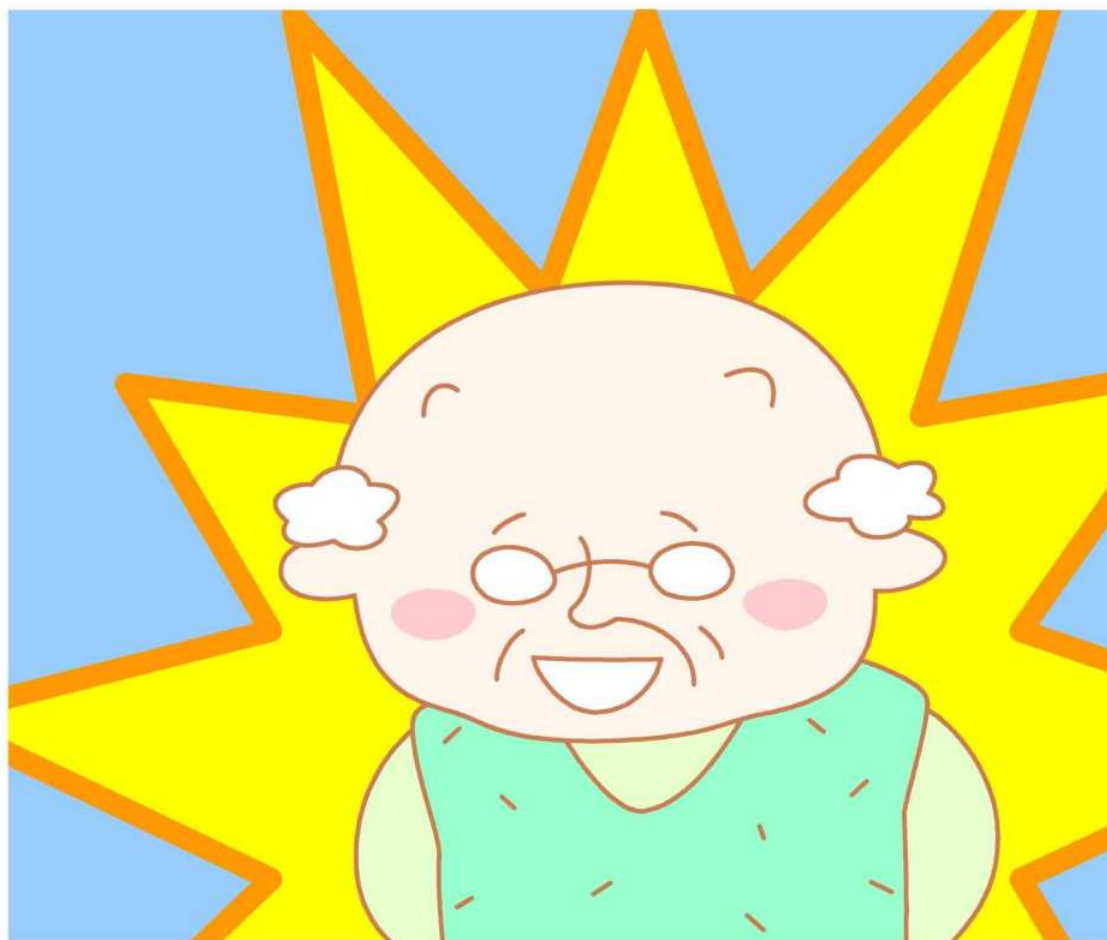


それだけかな？ほかに
なにか ないかな？

おともだち、しってい
たら おしえて！

「・・・？」

こまった3にんは、ものしりな なっちゃんのおじいちゃんにきいてみた。



すると・・・

「そうだなー、あ、そう
そう。ゆうめいじゃない
けど、おさかじょうが、
あるよ。よーく できた
おしろらしいよ」

「へえー。おさかじょう
ね、しらなかった。」

「どこが、よくできているの？」

「ん〜」

きかれたおじいちゃん
は、こまってしまった。

「おじいちゃんも しら
ないぞ。これは、おもしろ
そう。しらべてみよう」
と 3 にん。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜ
なぜくんが、もりからあそびにきたよ。ど
こかな？



さっそく、つぎのひ、
おじいちゃんと いっし
よに おさかじょうに
いった。

ちゅうしゃじょうにつ
くと、せまいりぐちが、
あった。

そこからの かいだん
は、きゅうで

はぁ はぁ

いきが、きれた。

のぼると、ひろい た
いらなところが、おれま
がったほりや どるい
で、4つにくぎられてい
た。



3 にんは、

「どうして、いりぐちが
せまくて、かいだんが、
きゅうなのか？」

「どうして、まがりくね
った ほりや どるいで
くぎられているのか？」

ふしぎにおもった。

ふとみると、めのまえ
にかんばんが、あった。

やぐら だい 臺 跡

ここは、一ノ曲輪北面の土塁を
外側に張り出させて形成した平坦
地で、城が機能していた当時は
櫓のような建物が建っていたと思
われます。この位置からは二ノ曲
輪の北側虎口、一および二ノ曲輪
西面の空堀底、三ノ曲輪西側の城
外が見渡せ、小坂城を防御する上
で司令塔のような役割を果たして
いたと考えられます。



櫓台跡位置図

(牛久市教育委員会・茨城大学中世史研究会)

「ん・・・よめないよ。
おじいちゃん、よんで」
と なっちゃん。

「んー、なるほど なる
ほど。ここに やぐらだ
いが、あつて、てきが、
くるかどうか みはって
いたようだ」

と おじいちゃん。

そこで、やぐらだいを
ほりからみたら

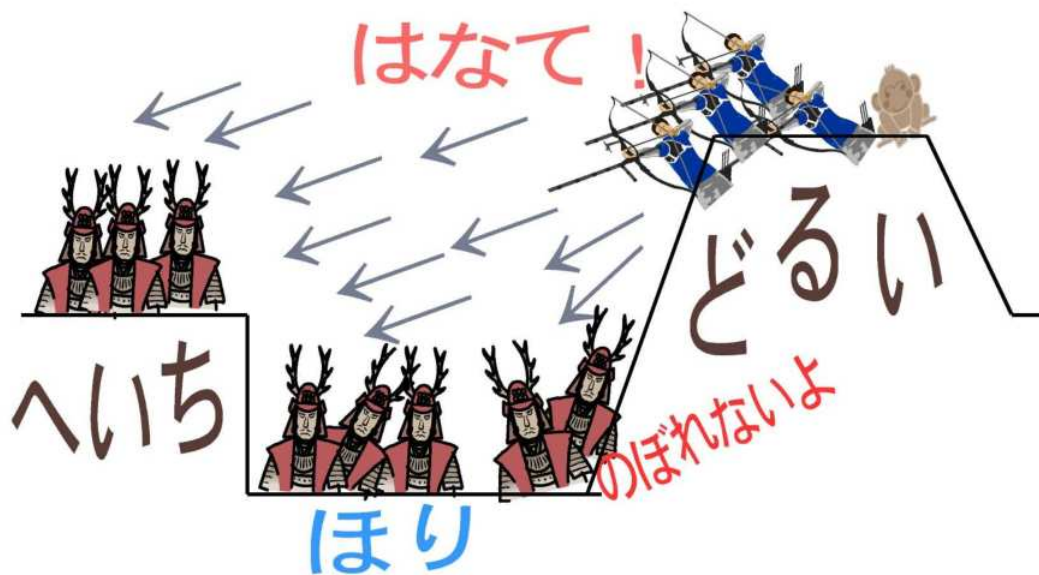
びっくり！

こんな きゅうな さ
かになっていた。



しばらくあるいていく
と また、かんばんがあ
った。

「これは、どばしのせつ
めいだが、たいせつなの
は、**あおいせん**のところ
だ。ここが、ほりなんだ。
そのまわりの こだかい
ところが、どるいなんだ。
よーく みてごらん」



「なにか　ひとが、あ
るかもしれないよ？」



ど　　ばし 土　　橋

この先は、三ノ曲輪南面の虎口と
二ノ曲輪北面の虎口を結ぶ土橋と
なっています。土橋の両横には空堀が
迫っており、一度に多数の人が通る
ことはできません。この土橋を渡ると、
そのまま虎口を通り二ノ曲輪に入れ
ます。しかし、正面には一ノ曲輪北東
部の土塁が、また右前方には一ノ曲
輪北部土塁の櫓台が聳え、両土塁上
からの攻撃にさらされます。



土橋位置図（緑色部分）

（牛久市教育委員会・茨城大学中世史研究会）

「んー、わかんないよ」

「それに きづいたら、
おさかじょうの

ひみつ

が、わかるかも？」

なにかな？

なにかな？

なにかな？

ん〜。

そのとき、3にんは、
ふしぎなあなに すーっ
と おちていった。

そこでは、たたかいが、
はじまろうとしていた。



さむらいのさけびごえだ！



あおいろは、ほり

むらさきいろは、どるいだよ。

やあーやあー



てきが、いりぐちから
せめてきた！

ぴゅん ぴゅん

どるいから やが、はな
たれた。



てきが、こぐちのどば
しを わたろうとしたが
・・・。せまくて、わた
れない。



そこに

びゅん びゅん

どるいからやが、はなたれた。

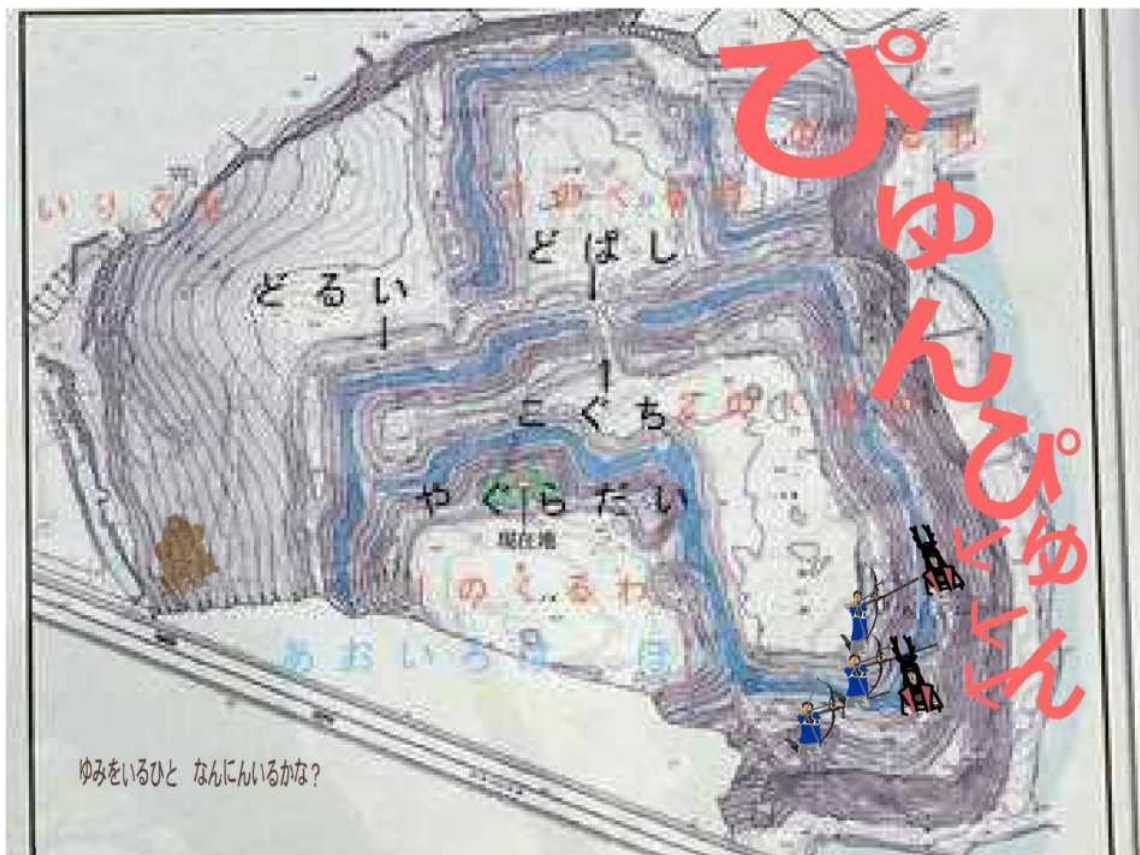
1のくるわにも せめてきた。



きたぞ きたぞ！
どるいから
やで ねらいうち。
これは、かなわん。
にげろ にげろ！

しかし、てきも ひっし！

こんどは、ひがしからせめてきた。



どるいから ねらいうち。
ここも だめか！

「よーし、こんどは、きたからだ！」



どるいから ねらいうち。

あれあれ ここからも
だめだ！どこから せめ
ればいいんだ？

こうして、てきは、

にげかえった。

「あ！そうか、そうか。
どるいやほりを まげ
て、よこからやをいかけ、
てきを むかえうつこと
ができたんだ！」

びっくり!

すごい　しかけだ！

これが、おさかじょう
のひみつだったんだ。

そのときだった。はず
みで

「ばーん」と 3 にんは、
あなからとびだした。も
とに もどれるかな？



「ちびむすドリル」

あ！もどれた。
おじいちゃん、

びっくり！

いなくなった3にんが、
きゅうにあらわれたの
だ。3にんは、みてきた
ことを おじいちゃんに
はなした。すると、

「そういえば、むかし
むかし。いずみのとのさ
まが、おさかじょうに
せめてきたとき、いずみ
じょうの　とのさまをう
って、げきたいした　は
なしをきいたことがある
よ。きっと、このしかけ
をつかったのかもしれな
いね」

と　おじいちゃん

3 には、

びゅり!

そんなことがあったんだ。すごい　すごい！

はなしながら 3 にんは
きづいた。

「おさかじょうは、せま
いけど、たたかいにかつ

ひみつが、
ぎゅぎゅっと

つまっていたことにね。

それをきいた
おじいちゃん

びっくり!
びっくり!

よーく わかったね。

そういえば、さいきん
ごじょういん（おしろのなまえが、
かかれてあるかみで、おしろゆかりの ぶしょう
や かもんなどが、いんさつされている。）
もでたよ。

「やっぱり、おさかじょ
うは、うしくのたからも
のなんだね」
と 3 にん。

にっこりわらって、だ
いまんぞく。

おじいちゃんのために
なみだが きらり。

つぎは、なにをしらべ
ようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。



またね